

まちの話題

① こだわりの韓国料理を給食に 給食記念週間（1月22日～26日）

1月25日（木）、菊水地区の学校給食で、当町の姉妹都市である韓国「公州市」の料



▲のりで上手に巻いていただきます！

理を味わってもらおうと、こだわりの韓国メニューが登場しました。献立の主食は「キンパ」という韓国風の巻きで、和え物と卵焼きをのりで巻いて食べます。副食は「チゲ」というトウガラシのはいったスープ。他には「たちゅうお」をカラリと焼いてオリジナルのピリカラソースをからめたものと、「ソンプジョン」というだんごのデザートです。「ソンプジョン」は米の粉をお湯で練って、公州市特産の「栗」を包んでゆでて、「えごま」というシソ科の植物油をまぶして食べる、韓国ではなじみ深い家庭料理です。

このメニューは、給食センターの職員が実際に韓国を訪れた際、食の交流を大切にしていこうということから実現し、韓国に直接電話で尋ねたり、熱心に本で調べたりしてできたメニューで、ひとつひとつが手作りです。また、調理に使われた白菜とほうれん草は新鮮な和歌山産が使われました。このように、たくさんの人たちの熱意と努力で実現した今回の企画は、子どもたちにも大好評でした。

② 心をひとつに 和町駅伝大会（第32回三加和分団親善駅伝大会）

1月21日（日）、三加和総合支所前をスタート・ゴールとする「和町駅伝大会（第32回三加和分団親善駅伝大会）」が開催されました。

全13区間のコースを9チームで競い合いました。

中盤までは、激しくトツプが入れ替わる大接戦となりましたが、6区で第3分団がトップになると、追いかけてくる後続を振り切っ



▲優勝した第3分団の選手のみなさん

て見事3連覇を達成しました。躍進賞は、前回から4位順位を上げ4位に入った第6分団（中林、東・下・中吉地）が獲得しました。沿道からの声援ありがとうございました。

《総合成績》
優勝 第3分団
準優勝 第5分団
3位 第9分団
4位 第6分団
5位 第1分団
6位 第7分団
7位 第8分団
8位 第4分団
9位 第2分団

《躍進賞》 第6分団
《最優秀選手賞》（敬称略）
第3分団 仙頭ゆかり（上十町）
《奨励賞》
第5分団 福原 紀香（和仁）
第7分団 藤原 章裕（上大田黒）

③ 長年の活動と努力に表彰状 熊口緑のリボン賞受賞



▲受賞された和歌山老人クラブ連合会 菊水地区女性部の役員

12月13日（土）、菊水地区老人クラブ女性部が「熊口緑のリボン賞」を受賞しました。この賞は、県内で善行や奉仕活動を行った個人、団体、団体を表彰するもので、昭和34年に「社会を明るくする運動」の一環として創設されました。今回で73回を迎え、これまで197団体、815個人が受賞しています。

今回受賞した「菊水地区老人クラブ女性部」は、平成2年の結成以来、雑巾タオルを施設・学校等への寄贈を続けています。この17年間の活動を認められた受賞であり、女性部のみなさんはこれから先もこの伝統を引き継ぎボランティア精神を培っていきたくと話していました。これからも一人一人の集まりが大きなパワーにつながることを願っています。元気で笑顔の老人会であることを願うとともに、これからのさらなる活動を期待しています。受賞おめでとうございます。

⑤ 鬼はそと！福はうち！ 神尾保育園豆まき交流会

2月2日（金）、神尾保育園で節分にちなみ豆まきが行われました。園児たちは、この日のために自分たちでおもいおもいの鬼のお面を作成。当日は、ふれあいサロン神尾校区のおばあちゃん達も参加し、園児たちと一緒に「幸せがきますように！」と豆まきを楽しんでいました。

▲鬼はそと！福はうち！

また、豆まき終了後は音楽グループ『風音』と和歌山の読み聞かせグループ『みどりの樹』によるほのぼのコンサートが行われました。琴や尺八などの和楽器と絵本の読み聞かせの融合が実現し、園児たちも食い入るように見つめ、一味違った節分を体験することができました。

④ ニジエールという国をどう存じますか？ 青年海外協力隊としての活動を終えて 品川 有樹子さん（久米野）

私は、2年間青年海外協力隊としてニジエールで活動しました。



▲品川有樹子さんと村の子どもたち

内陸国です。国土は日本の4倍ですが、その3分の2は砂漠。そのため、一番暑い季節は気温が50度を超すので、作物があまりとれません。人口は1,200万人、約6種の民族が暮らしていて、言葉も民

族の数だけあります。1日1ドル以下で過ごす人が人口の60%を占める最貧国です。私の活動先は聾学校でした。就学率が38%というこの国では、障害を持つ子供が十分な教育を受けるための仕組みは整っていません。活動は現地の教師と協力して進めていきました。学校菜園を始め、収穫した野菜を売り、学校運営の資金にしたり、地域住民の理解を得るため、文化祭を企画したりしました。慣れない環境に戸惑うこともありましたが、ニジエールの方々に支えられ、無事2年間を過ごすことができました。



▲ほのぼのコンサートの様子